

平成28年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「制度導入適否」に係る審査)

- 1 開催日時 平成28年5月11日(水) 10:00～
- 2 開催場所 青森市役所本庁舎2階庁議室
- 3 対象施設 青森市森林博物館
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎(市民政策部理事次長事務取扱)
副委員長 加藤 文男(総務部理事次長事務取扱)
委員 岩船 彰(青森中央学院大学教授)
委員 西村 晴夫(東北税理士会青森支部税理士)
委員 横内 修(財務部次長)
委員 木村 文人(市民生活部次長兼行政情報センター所長)
委員 舘山 新(健康福祉部次長)
 - (2) 施設所管課(文化財課) 課長 渡邊 薫
主幹 児玉 大成
主査 工藤 洋樹
 - (3) 制度所管課(政策推進課) 課長 船橋 正明
主幹 高野 新
主査 伊藤 秀人
- 5 案件 指定管理者制度導入適否について
- 6 審査結果 全委員異議なく、全会一致で以下のとおり了承された。

- (1) 指定期間 5年
- (2) 利用料金制 なし
- (3) 募集形態 公募

7 主な質疑内容

(委員)

次回募集時の課題として、ホームページの作成・更新義務を仕様書に追加し、情報発信力を強化するとあるが、専門技術を持った者が必要で容易ではない。専門技術がない指定管理者に代わって、市の方でホームページの作成・更新する専門の部署を設けるなどの対応が必要ではないか。

(委員)

市のホームページの作成・更新業務は市で行っており、各施設の概要も紹介している。この課題については、指定管理者が独自にホームページを立ち上げるというイメージか。

(施設所管課)

指定管理者に森林博物館独自のホームページの運用を義務付けることで、常にリアルタイムな情報発信が可能になり、イベントの告知だけでなく、イベントの最中にもフェイスブック等と連動した発信も可能になる。

(委員)

入館者数のわりに、使用料が伸びていない印象である。

(施設所管課)

中学生以下や高齢者の無料入館者が多い。

(委員)

市内の人しか訪れていないのか。

(施設所管課)

市外からも、高齢者や小中学生が訪れている。

(委員)

バリアフリーについては、整備されているのか。

(施設所管課)

博物館は、バリアフリーにはなっておらず、車椅子で2階にあがることはできないが、希望があったときは職員が車椅子を担ぐ等により対応している。

(委員)

学習室の使用頻度が少ないように感じる。

(施設所管課)

学習室のうち、第1・2学習室はほぼ企画展で使用されており、市民や団体に貸出しているのは第3学習室のみとなっている。

(委員)

閉館時間が16時30分となっており、短いような気がする。

(施設所管課)

閉館時間等については、市内の博物館類似施設では、中世の館と森林博物館が16時30分閉館で休館日もほぼ同じだが、昨年オープンした小牧野遺跡保護施設とあおもり北のまほろば歴史館は17時閉館で月曜も営業していることから、教育委員会内で検討していきたい。

(委員)

森林鉄道の機関車は、普段でも観覧可能なのか。自由に観覧できることがあまり知られていないので、PRに努めてほしい。

(施設所管課)

営業時間内であれば、常時見学できるようになっている。本年度、津軽森林鉄道をテーマにした常設展示室をリニューアルする予定であるので、関連してPRに努めていきたい。